

組合員各位

告示の通り、会社より最終回答を受け、2022 年度冬季一時金は妥結致しました。

まず組合より正社員組合員一人平均 160,000 円、契約社員組合員一人平均 133,000 円という要求額根拠の趣旨説明をさせて頂きました。

2022 年度上期（3-9 期）実績としては、売上実績 14 億 4 千 5 百万円（前年同期比 97%）販管費 14 億 9 千 9 百万円（前年同期比 104%）営業利益-5 千 4 百万円、中北薬品様売上 12 億 4 千 7 百万円（売上比率 86.3%）、グリーンサービスとして売上増を目指す外注売上では 2 億 2 千 6 百万円という結果に終わりました。2022 年度 11 月現在、交通事故（有責）14 件（前年同月 31 件）、交通違反 14 件（前年同月 22 件、労使協議事項である“携帯保持違反”が 2 件発生しております。商品事故においては、2022 年度上期（4-9 期）商品事故 30 件、弁済金額 1,904,505 円（2021 年度下期、事故件数 50 件、弁済金 385,745 円）となっております。

団体交渉ではまず、昨今世界情勢の不安定による円安が続き、度重なる物価の値上げが組合員の生活に大きく影響している状況を訴えました。しかしながら今回の団体交渉は、営業損益が出ていることもあり大変厳しいものとなりました。

交通事故違反については、2022 年度組合目標として“交通事故（有責）30 件以下、交通違反 20 件以下”を掲げて活動しております。前年同月累積より交通事故違反は減少しております。要因として、組合の取り組み（毎月の重点注意事項）と、ドライブレコーダーの導入による、組合員の安全運転に対する意識向上が大きいと思われまます。労使協議事項である携帯保持違反については、2 件発生しており、会社より「未だ、携帯保持が無くならないのはどういうことか」と、厳しい言葉をいただきました。携帯保持違反の撲滅が未だ達成できておらず、今後の課題となっております。組合として携帯保持違反撲滅のための取り組みをしていきます。

商品事故については、事故件数は減少していますが、弁済金が著しく増加している状況で、商品に対しての取り扱いの意識、危機管理が未だ足りていない事が問題であり医薬品輸配送を生業としている我々には、商品事故は撲滅事項であり、会社の信頼が無くなっていきます。

新規事業につきましては、10 月 8 日の執行委員会にて勉強会を開き各支部の新規案件情報を共有致しました。医薬業に限らず広い目線で新規情報を拾い次につなげる為、まずはグリーンサービスが“何が出来るか”から始め、各営業所の仕事内容を確認するとともに、新規外注の内容、獲得の過程を情報共有致しました。また、チャレンジ 20 につきましては、ルートの見直し、出勤時間の調整など各営業所の取り組みを支部長より発表して頂き情報共有を致しました。

売上げの約 86%を中北薬品様から頂いており、中北薬品様への依存が高い状況です。物価の上昇は組合員の生活費の圧迫もありますが、会社としても燃料費高騰、高速料金の圧迫、などの影響により販管費が上がっており、今後の外注獲得による売上増が必須となっております。親会社である中北薬品様への依存度が高いことを皆様へ常々お伝えしておりますが、今後中北薬品様のグループ会社として貢献していかなければなりません。会社の方針である新規事業獲得の為、組合員様からの情報提供が求められています。中北薬品様への依存度を下げ、グループ会社として協力し続けなければなりません。日々の業務に追われ大変な状況ではありますが、各営業所内で埋もれている新規案件のアイデアを上げて頂く事で、外注売上に繋がっていくはずで、組合からとしても全面的に協力致しま

すので、ご協力を宜しくお願い致します。組合としても組合員皆様へのサポート体制を整え、新しい取り組みを行って参ります。「医薬品流通の安定供給」に携わる我々が、しっかり業務遂行する事によって社会的責任を会社と共に果たしていかなければなりません。

最後になりますが、次は夏季団体交渉が控えており今回掲げた目標の達成状況で妥結額も大きく変わってきます。組合員のより良い労働環境改善を求めて前進していきます。目標達成に向け組合員皆様へ難題を投げかけますが、更なるご理解、ご協力をお願い致します。

組合員の皆様、今回の団体交渉に対する
ご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

2022年 12月 8日
グリーンサービスユニオン
執行委員長 高梨 祐次

公印省略